

I 学校の教育目標

ふるさと大山を誇りとし、次代をたくましく生き抜く児童生徒の育成  
～高い志を持ち、主体的に学習や運動に取り組む生徒の育成～

II 育成を目指す資質・能力

言語能力(他者と協働するための対話力)

III 児童・生徒の課題

学力状況について	学習状況について
児童の課題 R6年1月の日田市学力状況調査では、現2年生は各教科全国平均を上回ったものの、集団の中の学力差は大きく、底辺層に対する基礎基本の定着が課題となる。	○定期テスト5教科での50点未満の生徒22% 令和5年度3学期末生徒アンケート結果より ○授業では、自己の考えをもち、伝えたり発表することができる。肯定的回答:72% 生活日誌アンケートにおいて ○目標学習時間とメディアルールが守れている生徒 73%

IV 学校評価4点セットの学力に関する達成指標

○定期テスト全教科における基礎・基本問題の正答率60%以上

V 授業改善の取組(「授業改善の5点セット」目標達成に向けた組織的な授業改善)

①授業改善テーマ	対話する力(課題解決に向け、協働しながら思考・判断・表現する力)の習得 ～自己判断・自己表現できる生徒の育成～
②授業改善の重点	「対話的な学び」の場を充実することで言語能力(他者と協働するための対話力)を高める授業の推進

	③取組内容	④取組指標	⑤検証指標	検証(成果・課題)
1学期	○授業において、「対話的な学び」を充実させる。	○単元に2回以上、授業者は、「対話的な学び」を主とした授業を実践 ○各学期に1回、「対話的な学び」の好事例共有を図るため、互見授業および授業実践交流会を実施	○授業評価「小集団の話し合いで、自分の考えを友だちに伝えたり深めたりすることができたか」の項目に肯定的評価75%以上 ○生徒アンケート「授業や生徒会活動で、友人と意見交換しながら問題解決に取り組むことができた」肯定的評価60%以上	

	③取組内容	④取組指標	⑤検証指標	検証(成果・課題)
2学期				

	③取組内容	④取組指標	⑤検証指標	検証(成果・課題)
3学期				

VI 学習定着状況の把握とフォローの取組 および  
個に応じた学習の取組(補充学習・習熟度別指導等) ※評価はプルダウンで選択

	重点的取組	取組指標	評価
1学期	○朝学習時に新聞コラム記事の視写、条件作文の実施 ○6限後のドリルタイムで基本的学習内容の定着を図る ○5教科では必要に応じて小テストを実施	○教員は、毎日、ドリルタイムに補充学習を実施する ○5教科担当は、必要に応じて小テストを実施。月に1回、総復習として「プラムタイム・テスト」を実施	
2学期			
3学期			

◎=達成(10割以上)、○=概ね達成(8割以上)、△=やや未達成(6割以上)、×=未達成(6割未満)

VII 学校・家庭・地域の協働の取組 ※評価はプルダウンで選択

	重点的取組	取組指標	1学期	2学期	3学期
家庭	・メディアルールの順守について、強化週間を設定し、各学年で取り組む。	○家庭は、各学期に1回以上、記述内容に対するコメントを記入	評価		
地域	○対話する機会の提供	○学期に1回以上、中学生の体験活動または地域住民との対話の機会を提供			

◎=達成(10割以上)、○=概ね達成(8割以上)、△=やや未達成(6割以上)、×=未達成(6割未満)

VIII 令和6年度日田市アクションプランの達成指標・取組指標

1 学校評価4点セットの達成状況

令和6年度学校評価の4点セット 達成指標(学力)の評価	1学期	2学期	3学期

※学期末の評価を1～4で入力(達成指標が複数ある場合は、平均を四捨五入した数値)  
※プルダウンで数値を選択

2 取組指標

① 「新大分スタンダード」と自校の【③取組内容】に基づいて、単元計画と本時案(略案)を作成して、授業を担当する全教員が11月までに公開授業(互見授業含む)を実施する。	授業担当者数 人	授業を公開した教員の割合	
		7月末時点 %	11月末時点 %

※割合(%)は四捨五入して整数表示

② 管理職または教務主任等は、授業観察シートをもとに、経験の浅い教員(採用10年以内)1人に対し学期に3回以上授業観察を行う。	1学期	2学期	3学期
---	-----	-----	-----

※プルダウンで○、×を選択

③ 計画的に互見授業を実施し、全教員が学期に1回以上自校の教員の授業を参観する(校内研を除く)。	1学期	2学期	3学期
--	-----	-----	-----

※プルダウンで○、×を選択